

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	当グループホームの利用者様の重度化に伴い、介護力に限界がある。	介護を負担に感じることなく、楽しく協力し合って実施することができる。	車椅子使用利用者様に対して、残存機能を十分活かしてもらいながら、動作時において10秒程度立ってもらう時間を作り、毎日繰り返して行う(生活リハビリを強化してレベルを向上) 定期的に介護技術講習会を開催する。 普段からスタッフ間で協力を求められるような関係作りに努める。	6ヶ月
2	26	介護計画書の把握がリーダーだけで精一杯の状態である。	全職員が介護計画書を把握して、実践につなげることができる。	毎月1回開催されるリーダー会議において、介護計画書の理解度を各リーダーに確認しながら、居室担当スタッフに伝えられる力を養成する。 3ヶ月毎の目標に対して、居室担当スタッフに意見出してもらいながら一緒に評価する。	6ヶ月
3	4	運営推進会議を3ヶ月に1回開催していた。参加人数が少なかった。	2ヶ月に1回開催する。	本館と合同で奇数月に開催する。 全家族様に開催の案内を出す。 様々な意見が出せるよう、必ずリーダーも参加してもらう(可能なら2人) 普段からご家族様にも気軽に意見を出してもらえよう、常に働きかけを行う(口頭・お手紙等)	3ヶ月
4	20	毎月行事を開催していても、ご家族様の参加がほとんどなかった。	行事に家族の参加が増える。	大きな行事がある際には、毎月請求書発送時に案内を出し参加を促す(その他新聞等にも記載) 随時ボランティアの受け入れを行う。 介護計画書説明時写真を渡し、様子を伝える。 施設内にも行事の写真を貼り出す。	3ヶ月
5	1	オープン時より申し送り時に理念を唱和しているが、本当に意味を理解して唱和されているのか不明である。	意味を理解して唱和できる。	職員会議で理念の意味を話し合い、理解を深める(必要であれば、新館独自の目標を作成する) 毎日の3回の申し送り時に唱和する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。